



講師：植田 寿乃 氏

(有)キュー 代表取締役

〈略 歴〉

筑波大学芸術専門学部卒業。自動車会社の一般職から、㈱ベンチャーリンク、㈱アスキーなどを経て、1991年ANAビジネスクリエイトにてマルチメディア事業部長。

1998年独立し、有限会社キューを設立（代表取締役）。キャリアコンサルタント（米国CCE, Inc.認定GCDF-Japan）

「女性と組織の活性化研究会」を主宰し、現在100社近い企業をネットワークしサポート。

1998年～2003年 SuperbNet

（働く女性のキャリアサポート）を主宰

2006年8月～

2009年女性メンターを組織した「キャリアセレブロン」を主宰。

2011年5月～

企業の人材開発を目指す女性講師育成の「植田道場」を主宰。

2013年5月～

50代からの女性の素敵なお働き方生き方を体現する「50's Muses」を主宰。

日 時：平成26年7月8日(火)

16：00～18：00

会 場：宇都宮東武ホテルグランデ

参加者：92名

〈委員長挨拶〉

産業政策委員会は「栃木県産業の『成長』に向けた新たな戦略」～女性が積極的に参画できる社会を目指して～をテーマに活動してきました。

実際に研究を進めると、経営者だけではなく、女性社員の意識の問題もあり、また労働環境、法整備等いろいろと直さなければならぬ問題があると痛感している。引き続き皆さまのご協力をお願い申し上げたい。



〈講演要旨〉

1. 自己紹介

筑波大学3年の時に20歳で研修医と結婚。卒業してOLをやった。上司に「女の子は赤ちゃんができて辞めたら、他の女の子がやるから職場の華として楽しくやってくれ」と言われた。当時、私は何の疑問もなかった。

でも、妊娠する前に旦那の浮気が原因で1年かけて調停離婚。25歳の時、2度と結婚なんかしない。男の3倍5倍働いて、男社会でのし上がると心に誓った。

1990年に全日空グループに転職しIT事業を全日空のグループで立ち上げた。幸運だったのは、最初の上司が「何かあったら責任取るからどんどん頑張れ。」と私の可能性、引き出しを開けてくれて、自信を付けさせてくれたこと。仕事が面白くなり夢中になって頑張った。そしてあっという間にグループリーダー、課長、35歳でマルチメディア事業部長になった。六本木に住み、雑誌にも出た。

でも、とんでもない代償を払った。20代30代の女性として一番大事な時期に、ストレスの多い生活や働き方をして、女性ホルモンのバランスが崩れ、子宮筋腫と卵巣のう腫になっ

た。さらに2回目の手術の直前、30人の部下全員から辞表を出された。「植田さんは仕事の鬼。人の心なんか持っていない。彼女の下で奴隷のように働けない。彼女が辞めるか、僕たちが辞めるかだ。」サラリーマン人生において最もショックな出来事だった。

女だと思ってなめられちゃいけないと、飲みニケーションにも付き合い、たばこも無理して吸った。業績や数字もとことん追いかけ、部下にも昇格、昇給、ボーナスで還元し、部下のことを一生懸命考えた。だけど気付いてなかった。誰一人として生き生き働いていなかった。奴隷の気持ちで働いていた。私自身も体ボロボロで生き生き働いていなかった。

そして40歳を過ぎてからこの仕事をするようになった。私の仕事は生き生きとした会社組織を作るお手伝い。部下、メンバーを生き生きさせられるような経営陣、管理職を増やしていくという仕事。私は自分の仕事をやりながら、時代の変化をすごく感じている。同時に、私自身が40歳を過ぎて初めて、生き生き生きる、生き生き働くことを体感できるようになった。

2. 強い組織の定義

2000年以前はオールドキャリア、以後はニューキャリアという。2000年以前、年功序列システムが絶対的に存在し、真面目に働き続ければ多くの退職金が支給され、悠々自適の生活が送れた。だから男性は企業戦士として働いた。

女性は給料が低く、結婚か出産を機に家庭に入った時代。

会社は働き続ける男性の集団で、リーダーの役割は軍隊の隊長。隊長は部下たちを鍛え使いこなした。部下は時々潰れたが、リーダーは業績を残していたから問題なし。軍隊に弱い兵士は要らない。パワハラは存在しない。気合いと根性だ。

それが2000年を境に変わった。高度成長は終わり、ITがビジネスのやり方や生活を変えた。外資系企業が進出し、業界再編、昭和

栄華の会社は潰れた。

今はいろんな人生を背負った人たちが集合体で頑張っている。だから、軍隊の隊長ではなく、オーケストラの指揮者が求められているのだ。

オールドキャリアは縦糸の時代。2000年以降のニューキャリア時代は、縦糸に横糸を紡いだ布の時代。しかし昭和の縦糸も必要だが、縦糸だけの会社はプツッと切れてしまう。布にはしなりがあり破れない。このしなやかな強さが、2000年以降大事になってきた。

スポーツの世界で、オーケストラの指揮者で成功しているのは女子サッカーの佐々木監督だろう。

3. 男女の違い

男女の能力差はない。能力差は個人差だ。だが男と女には性差がある。

男性と女性の違い	
男性	女性
<ul style="list-style-type: none"> ○戦う（独り占め） ○縦のつながり（エレベーター） ○論理性 ○貫く力、信念 ○ライバル、切磋琢磨 ○大切なものを守る愛情 ○父性 	<ul style="list-style-type: none"> ○分かち合う（共有） ○横のつながり（バケツリレー） ○感受性 ○変わる力、柔軟性 ○仲間、共鳴 ○大切なものを育てる愛情 ○母性
<p>★男性が縦糸的、女性が横糸的な強さがある！</p>	

組織は布になると強くなる。男性に横糸を張ってもらえるのもいいが、会社には多くの女性がいる。その女性たちが横糸の強さを活かしてどんどん可能性を広げて活躍すると、どの会社もあつという間に布になる。

4. 草食男性と肉食女性

今会社の面接で優秀な学生が欲しいというところ7割が女性になってしまう。女性の方がしっかりしている。これは彼女たち、彼らのせいではなく親のせいだ。彼らの親は50代。父親は24時間働き、平日は帰りが遅く、土日はゴルフか寝ている。子どもとの接点は0に近い。

一方母親は専業主婦が多い。母親は時間と

愛があり余っており、息子に愛が全部いってしまう。息子は母親の言うことを全部聞き、父親の縦糸はない。さらに母親には父親のような仕事人間は駄目と言いつけられ、縦糸を持たずに入社してしまう草食男性が多い。だから心配りはできるが上昇志向がない。

肉食女性は、母親のような昭和の女の幸せは無理と分かっている。だから結婚して子どもも産みたいが自立もする。働くのは当たり前。だから両立持っている。

今企業で心配なのは男性新入社員。すぐ辞めてしまう。でも、このまま辞め続けたら大変なことになる。だから彼らを育て直さないといけない。会社で育て直す。「育てる」のは誰が得意か。間違いなく女性だ。

5. 女性リーダーの育てる力

男性と女性、同じポジションでも良さが違う。女性はチームを持ったら家族のように感じる。

部下やメンバーがミスして落ち込んでいると、男性は「何ミスしているんだ。やる気出せ。」、女性は「どうしたの。なんか心配事もあるの。」と言う。女性は心の動きに敏感。男性は「大丈夫か」と声を掛ける。部下が「大丈夫です」と言ったら信じてしまうが、部下の顔は引きつっている。その表情を女性は見逃さない。

女性は、自分が育てた新入社員が活躍し、自分のポジションを追い抜いたら、あの子が偉くなったと喜ぶ。まさに母の喜びだ。

Que 女子力

オールドキャリア時代の『女子力』イメージ

『女性は優しく、細かいところに気がつく、おとなしい』
→ サポート業務、定例業務が向く？

組織、会社を変える『女子力』とは

『しなやかでしたたかな強さと、思いやりと優しさで信頼関係を築く共鳴力』
→ 今まで男性だけがやってきた仕事に変化が起きる

女子力とは、能力+αの女性ならではの力のこと

Copyright © Que Inc. All rights reserved. 10

男性は闘争心があるから、優秀な部下は大好きだが、優秀過ぎて自分を追い抜こうとすると、女性のように喜ばない。

6. ワークライフバランス

人生を背負いながら生き生きするために一番大変なことはワークライフバランスである。ワークライフバランスをイメージした時、45歳以上の男性はどうしても仕事とプライベートとを分けて考えてしまうがそれは違う。働くことも人生の一つ。衣食住、健康、家族、パートナー、友人、人間関係、自己啓発、趣味も全部大事。でも全部を100にすることは不可能。だから自分の100をそれぞれに分配する。年齢、家族、心配事や背負っているものなどによって、バランスを変化させながら、70歳近くまで働きながら生きていく。

45歳以上の企業戦士歴20年以上の人たちにとって、昭和の時代は24時間働くのが素敵な時代だった。だから今も長時間労働。長時間会社において、大量の仕事をするのが頑張っている証しになっているがそれは違う。24時間働ける人はいないし、長時間やっていたら、疲れてくるから効率は悪くなる。ミスだって増える。大事なことは自分の限られた時間で、どれだけ素敵な結果を出せるか。素敵な結果というのは、効率と質だ。男性も女性もそこを頑張り、そこを評価されなければいけない。



7. 働く20～30代女性の潜在的な悩み

ロールモデルとは、3歳～5歳年上の素敵

な先輩で自分の未来を想像させるようなよいお手本。今、働く女性にとってお手本となるロールモデルがないという声が多く多い。また上司によって、女性が頑張れるかどうか全然違って来る。最近では、本当に女性活躍を応援する男性上司も増えてきた。男性女性関係なく、可能性を引き出してくれる上司だと頑張れる。だが昭和コテコテ上司は、子どもができたなら母親は家にいる方がいいに決まっているという固定概念が言動に出てしまう。

8. 女性管理職、管理職候補の悩み

女性リーダー、リーダー候補、管理職、管理職候補は孤軍奮闘している。まずメンターがない。メンターは10歳以上年上の人生の師匠。また管理職は子どもを産んではいけないと悩んでいる。頑張らないといけないプレッシャーがある。自分が失敗したら、だから女は無理と言われてしまうからだ。

だから経営者に言いたい。本当に女性管理職を育成したいなら、女性だけを集めて研修をやること。そういう応援をしなければ駄目。

するとこういう方が必ずいる。「うちの会社は男性も女性も昇格、昇給、チャンスも全部同じにしている。なぜ女性だけやらなきゃいけない。逆差別だろう。」と。でもそれは違う。女性のメンターやロールモデルもいて、3割の女性管理職がいるならやる必要はない。だが今はいないのだ。

その感覚を理解するには、男性は一度女性専用車両に乗った方がいい。ランチタイムには、女性専用車両でご飯を食べたり、化粧を直していたりする。そこに男性が入ったらどんな目で見られるか。「何この親父、私たちの聖域に」という視線が飛んでくる。

会社で普通の社員として働くのであれば男性も女性も居心地が悪いと思うことはない。でも係長、課長、部長となるとそこは男社会。自分はマイナーな存在で居心地が悪い。その居心地の悪さを知って欲しい。

9. 理想の女性社員？

どんな女性社員が理想か。男性社員と同様に、残業休日出勤、転勤、出張ができる。男性社員慣例やルールを学び従う。泣きごとでも文句も言わず、ひたすら役割を果たし、仕事も家庭もすべて完璧にこなす。男性は、こういう女性を優秀な働く女性として勘違いする。つまり、男性が求める優秀な女性は、スーパーウーマン。家庭を持って、両方完璧にできる女性。男以上にバリバリやるガンダム女を男性は求めがち。男と同じだから使いやすいのだ。だけど、これは大悲劇だ。

まず、企業戦士ガンダム女。30代の時は元気で、早くから遅くまで仕事して、20代の部下にも男子にも女子にも厳しい。だが女性は、男性にはある闘争本能を持っていない。だから企業戦士として男社会で働くために、女性たちはガンダムのスーツを着るしかない。そのスーツは重く、結局ストレスとなって心身を壊す。

仕事も家庭も両方完璧なんて無理。スーパーウーマンなんてあり得ない。自然体の女性リーダーを育てて下さい。女性リーダーを育てるというのは、何かに変身させることではない。今のまま輝きながら成長する。それがロールモデルになること。そうすれば3~5歳年下の女性たちが、あの先輩輝いている、私も頑張ろうとなる。

男性に意識して欲しいのは、単に女性管理職を増やせばいいというものではないということ。毎月女性管理職の研修をやっているが、そのクラスの女性たちの状況で、その会社の



ダイバーシティが分かる。ある会社は全員が独身。つまりガンダム女しか管理職になっていない。これでは男性至上主義が何も変わってないということ。

あとは女性管理職はいるが、お客様相談室や秘書室など、女性が向いているような職種だけの会社もある。しかも部下は全員女性。これでは男子校に女子クラスを作っただけ。女性活躍推進とは言わない。

大事なことは、女性活躍推進を実現することは、昭和の働き方をやめること。つまり、24時間働ける企業戦士はロールモデルではない。これは男性にとっても女性にとっても違う。能力に目を向ければ、男も女も関係ない。

10. 女性の前に現れるハードル

Que 女性の前に現れるハードル

- 1 管理職ができるか自信がない
- 2 管理職になりたいという気持ち起きない
- 3 育児と管理職の業務が両立するとは思えない

自信と動機付け！
◎自分の可能性に気づき、なりたい未来のイメージが見えたら、行動が起きる！

Copyright © Que Inc. All rights reserved. 26

この動機付けについて、男性は勘違いしている。男性には闘争本能がある。管理職になることは偉くなることと思っている。だから、同期に負けたくない。

しかし女性が持っているのは母性本能。勝つとか負けるではない。女性の母性本能は管理職に向いていないのか。いやものすごく向いている。今の時代の管理職は、女性の方が向いているのではないか。だって、人を育てなければいけないのだから。

キャリアを育むことは、組織の中での成長の証しだ。女性が長く働き続けているのに「このままでいい」というのは、小学生のまま一生暮らしたい、というのと同じ。どんどん後輩が入ってくる。小学生は中学生、中学生は高校生に



ならなければいけない。下の子の面倒も見なければならぬ。それが成長することだ。

11. 男性がやる研修での落とし穴

Que ★男性がやる女性リーダー研修での3つの落とし穴

- 1 海外、国内のデータ分析からの必要性の分析論
- 2 先行して成果を上げている企業の経営効果の強調
- 3 男性視点の素敵な女性リーダーのあるべき論、期待論

★良かれと思ったことは、女性たちには逆効果

- ×論理性の優先は違和感 頭にアプローチしても、理解しても変化なし
- ×会社の利益のために女性達が利用される 私たちは今まで頑張っていなかった？
- ×理想の女性リーダーマニュアルを押し付け 結局は男性主導というイメージのみが残る

◎女性達の心に響かなければ、女性リーダーは育たない

Copyright © Que Inc. All rights reserved. 28

12. 女性管理職育成の研修のやり方

オールドキャリア時代は、管理職の研修というと選抜や人事部指名で候補者を選ぶ。それではガンダム女に偏った人選になってしまう。それにより逃げられない役割とプレッシャーを感じ、職位で切られた階層別の研修になってしまう。こういう発想を捨てなきゃ駄目。

ではニューキャリア時代にはどのような研修がよいのか。上司推薦にすることで、上司から期待されているという信頼関係ができる。手上げ自主参加と上司推薦にすることで、幅広く参加者が集まりロールモデルを見つけやすくなる。

関西の某地方銀行の女性管理職育成を8年手伝っているが、当時6%の管理職が今18%まできている。私が教えた女性たちの中から、支店長が3~4人出ている。

また女性を公開セミナーにも参加させて欲し

い。いろんな会社の女性たちと出会い、ロールモデルやメンターと出会い、自立の促進とチャレンジ精神が高まる。公開セミナーに参加した女性たちは、その感動と気付きを自分だけのものとせず、周りの人たちに惜しみなく伝えるので、女性に投資すれば何十倍で戻ってくる。

13. 女性活躍推進は組織風土の改革

まずは経営陣と人事開発部門は、建前、つまり時流やアベノミクスではなく、本質を理解して、本音で自分の言葉で啓蒙活動を続けることが大事。そして男性管理職は女性部下と信頼関係を作ってちゃんと育てる。女性が生き生き働くとは、みんなが生き生き働くこと。そして、女性自身がもっと輝きたいと行動を起こすこと。

14. 男性経営者の意識

50代、60代の男性経営陣は、建前では政府の要請、株主のプレッシャーで、女性活躍推進は重要と言っているが、本音は昭和時代の人生観や価値観で、専業主婦、良妻賢母が女性の理想の姿と思っている。これではうまくいかない。経営陣が「女子力」が会社の未来を拓き成長すると信じて、本気で取り組むことがすごく大事なポイント。

45歳以上、企業戦士歴20年以上の男性管理職は、どうしても昭和の家庭像への執着を持っている。男性が女性よりも能力的に優れているというのは錯覚で、女性活躍推進は男性の労働力減少の補てんだけではない、ということをも男性管理職がしっかり意識しないと、ダイバーシティのストッパーになってしまう。女性がどんなに頑張ろうと思っても、ストッパーがいたら頑張れない。

15. ダイバーシティ時代が求める人間力リーダー

今どんなリーダーが求められているのか。男性、女性とも同じで、人間力のあるリーダー（EQリーダー、モチベーションリーダー）

である。つまり、自分自身のモチベーション状態を理解し、コントロールするとともに、部下や周りの人たちのモチベーションを感じ取りサポートし、組織の活力を上げられるリーダーのこと。それができないと、離職者、退職者、心の病になる人が増えてしまう。これが実現できているかどうかはすぐに分かる。実現できていたら、部下がこう言う。「あなたの下で働きたい。成長できるから。」それが信頼されているリーダーの証だ。

16. 人を活かす7つのポイント

Que ダイバーシティ時代のリーダーは全ての人を活かす

- 1 自己理解(モチベーション、ストレス)ができている
- 2 他者理解ができ、心を尊重するコミュニケーションができる
- 3 状況により適切なリーダーシップスタイルを選び発揮できる
- 4 部下の話を聴く力(カウンセリング&コーチング)がある
- 5 ストレスマネジメント、メンタルヘルスの知識があり実践している
- 6 女性のワークライフバランスに関する理解がある
- 7 セクシャルハラスメントに関する知識がある

★女性を活かすリーダーは、全ての人を活かす！

Copyright (c) Que Inc. All rights reserved.

39

女性に関わることは6と7だけ。5までは男性、女性関係ない。5までできていれば、6、7はおまけ。なぜなら、5までできていれば、どんな部下とも信頼関係が育めているということ。信頼関係があれば、セクハラ、パワハラは起こらない。

皆さんの女性の部下が生き生きしていたら、皆さんのチームは大丈夫だと思ってい。多分男性も生き生きしているでしょう。でも、その女性の顔が曇っていたら、チームの黄色信号が点滅しているということだ。



地域活性化支援実行委員会
4 プロ観戦ツアー
H. C. 栃木日光アイスバックス
委員長 関 雅樹 (株) 関 取締役会長

日 時：平成26年 9 月13日(土)
16：00～18：00

会 場：栃木県立日光霧降アイスアリーナ
参加者：19名

プロスポーツを通じた地域活性化を活動テーマとする当委員会では、昨年に引き続き、本県の誇る経営資源の象徴でもある4つのプロスポーツチームを応援観戦し、各チームの素晴らしさをPRするとともに今後の調査研究活動に反映させることとした。

今回はH. C. 栃木日光アイスバックスを応援観戦した。また試合観戦後、ステーキハウスみはし（明治の館）にて懇親会を行い、会員相互の交流を深めた。

今年度より、当委員会が子どもたちにスポーツ観戦の機会を提供する事業を開始し、毎ホームゲームに小学生2名を招待している。

【ホームゲーム観戦】

日光アイスバックスVS韓国アニョンハルラ



今季のホームゲーム開幕戦ということもあり、1,503人の大観衆の中、参加者たちは熱い声援を送った。アイスホッケーを初めて観戦したという参加者も多く、スピーディーな試合展開と氷上の格闘技と言われる激しい肉

弾戦に驚いていた。

試合はホーム開幕戦ということもあり、プレーに硬さの目立つ中、第1ピリオドに1点、第2ピリオドにも1点を奪われ重苦しい雰囲気で行進していたが、最終第3ピリオドに地元日光出身のルーキー寺尾勇利選手がデビュー戦でのゴールを決めると、会場は一気に盛り上がった。アイスバックスはさらにもう1点を追加するも、結局2-4で敗れ、ホーム開幕戦での初勝利とはならなかったが、最終ピリオドに見せた選手たちの最後まで諦めない姿勢に、明日の勝利に繋がる可能性を大いに感じる事が出来た。



第3回 新潟・栃木県経済同友会 交流会

日 時：平成26年10月 2 日(木)

12：30～19：30

場 所：日産自動車(株)栃木工場
宇都宮東武ホテルグランデ

参加者：新潟経済同友会 8名

栃木県経済同友会 19名

今年度で第3回となる新潟経済同友会との交流会を開催した。平成22年度のサマーセミナーを新潟県にて合同開催したことをきっかけに交流が始まり、第1回は栃木県、第2回は新潟県にて開催している。

〈視 察〉

はじめに国内工場では最大面積を誇る日産自動車(株)栃木工場を視察した。

日産自動車(株)栃木工場の歴史や現在の生産体制及び生産状況等の説明を受けたあと、車輛の最終組立まで行うという一貫生産体制ライン等を視察した。

その後、会場を宇都宮東武ホテルグランデに移し、懇談会と懇親会を行った。



〈懇談会〉

それぞれテーマを持ちより、参加者による活発な意見交換が行われた。

◆新潟経済同友会

テーマ：10～20年後を見据えた魅力ある地域づくり

筆頭代表幹事 池田 弘 氏

専務理事 藤澤 成 氏

◆栃木県経済同友会

テーマ：TOCHIGIで輝く☆

「働くウーマン」プロジェクト

専務理事 桑名 正史 氏

〈懇親会〉

懇談会終了後、開催した懇親会において両会の更なる親交を深めることができた。



栃木交流研究会・未来経営研究会 合同視察「大田原ツーリズム」

栃木交流研究会会長 渡邊 善一（日本電気㈱宇都宮支店 支店長）
未来経営研究会代表世話人 野田 和郎（㈱ハヤブサドットコム 代表取締役）



日 時：平成26年10月10日(金)～11日(土)
会 場：旧黒羽町立須賀川小学校 他

栃木交流研究会では、栃木の魅力を全国に発信するため、未来経営研究会では人間力向上に取り組むために、それぞれ調査研究活動を行っている。

今回は、平成25年1月に未来経営研究会第2回通常総会で講演をして頂いた、㈱大田原ツーリズム代表取締役、藤井大介氏の御協力により、当会のための企画を立てて頂くことで「大田原ツーリズム」視察の実現に至った。平成26年11月の「ガイアの夜明け」でも取り上げられた、大変注目されているツーリズム事業である。両委員会から18名が参加した。

初日、旧黒羽町立須賀川小学校（現在は廃校となっている）にて、「小学校生活体験」及び藤井氏による講演を行った。以下はその要旨である。

【1日目プログラム】

(1) 小学校生活体験

《大田原市副市長兼㈱大田原ツーリズム
会 長 永山 林 氏によるご挨拶》
全国的に見て、ツーリズム事業の成功例が

少ない中、大田原市議会の反対に遭いながら大田原ツーリズムを立ち上げた。全国的に、これまでのツーリズム事業は、異動を伴う公務員が担当する傾向があり、ノウハウの引継ぎが適切になされないことが多かった。そこで、異動を伴わない民間企業としての体制作りをし、事業立ち上げから8年で黒字化することを目標に事業を進めている。今年で3年目を迎え、海外からの受け入れ数も順調に増加している。大田原の有する資源を最大限に活かし、県央・県南に追いつけ、追い越せの精神で頑張っている。



1時間目：家庭科「大田原名物唐辛子に挑戦！」

大田原がなぜ唐辛子の生産地となったのか、その歴史を学んだ。その後、実際に大田原特



産の栃木三鷹（唐辛子）を使用し、オリジナル七味作りに挑戦した。9種類の材料を、各々自由にブレンドした七味を作った。

お昼休み：給食「郷土料理をいただきます！」



地元のお母さん達が調理した、懐かしの給食を頂いた。早速、1時限目で作った七味唐辛子を使用する様子も見られた。

2時間目：国語「俳句大会！」



松尾芭蕉が「奥の細道」の道中、最も長く滞在したのが大田原である。その縁にあやかり、全員で俳句作りに挑戦した。秋の須賀川地区の里山を散策しながら秋の季語を探し、全員で一句詠み、発表しあった。

3時間目：社会「大田原グリーンツーリズムについて」

《㈱大田原ツーリズム代表取締役

藤井 大介 氏による講演》

【講演の要旨】

2012年に地域活性化を目指して立ち上げた、官民一体の「大田原ツーリズム事業」も3年目を迎え、順調に推移している。

生きる力の育成とキャリア教育の観点から、主に教育旅行向けに受け入れを行っているが、現在では国際交流にもつながっている。11月にはインドから60名の高校生、12月には台湾から60名の高校生の受け入れを予定している。結果的に、地域活性化と併せて国際交流の場としての役割も担いつつあり、インバウンドの期待も高まっている。さらに、学校だけでなく企業の参加も増えてきた。社内での人間関係の構築や社員同士の交流を重視する企業が増えるのに合わせ、観光事業の拡大も図ってきたい。

地元の人もグリーンツーリズム事業へ協力して下さる方が増えている。事業の立ち上げ時に6軒だけだった農家民泊の受け入れ先が、現在では約70軒の農家が受け入れに協力して下さり、200名を超える農家民泊が可能となった。他県の数字と比べても、この数は異常に多い。まだまだグリーンツーリズムへの理解が進んでいない中、一軒一軒農家を訪問して協力を仰ぎ、地元の方を対象とした勉強会を100回以上行なってきた結果である。

平成23年度の大田原市の人口は約7万7千人だったが、現在はかなり減少している。大田原市は、源氏と平家の屋島の戦いにて、平家が立てた扇の的を見事射落とした源氏方の武士として有名な那須与一（なすのよいち）の出身地であり、松尾芭蕉が最も長く滞在した地である。侍塚古墳は水戸黄門が日本最古の学術発掘調査を行った場所でもある。歴史的に様々な所縁に恵まれた地であるにも関わらず、残念なこと外に発信されていないのが現状である。全国への発信の仕方によって、人は自然と集まってくる。その一手段としての大田原

ツーリズムの活用を推進していく計画である。

今後は観光交流人口を年2万人から3万人を目途に目標を立てていこうと考えている。1年目に800名だったツアー参加者数が、平成26年度には4000名を超える見込みである。さらに平成27年度には1万人を目標にできるまでに成長した。実際に大田原ツーリズムに参加された方々のアンケートによれば、そのほとんどが肯定的な意見である。しかし、まだまだ「これから」の部分も多いのも現状であり、課題も数多い。これからも官民一体となって地域づくりの一部を担っていくつもりである。

4 時限目：体育「最後はみんなでレクリエーション」

懐かしの椅子取りゲームやフルーツバスケットなどをして、懇親を深めた。単純なゲームながら、小学校時代にタイムスリップしたかのように、無邪気に楽しんだ。今回の授業内容を、新入社員研修に取り入れることを真剣に考える会員も見られた。



(2) 入村式：五峰の湯

小学校生活体験後、黒羽温泉「五峰の湯」にて入村式を行った。この日宿泊する農家の方と対面し、それぞれの農泊先へ向かった。



入村式の模様

(3) 農家民泊

3人から4人ごとに、5軒のお宅に分かれて農家民泊を体験した。それぞれの宿泊先で、心がこもった手料理をふるまって頂き、会員同士及び農家の方々との親睦を深めた。ホテルや旅館などでは味わえないひと時を得ることが出来た。

【第2日目視察プログラム】



退村式の模様

視察組は限界集落の視察と併せて里山の散策を行った。かつてのような人の手が入った山は、人が作った田畑と獣が棲む山との緩衝地帯になり、人と獣が共生する環境を作り出していた。しかし外国産材の輸入等による木材価格の下落や、産業構造の変化により若者が里山から離れたことで、里山は荒廃し、生態系のバランスが崩れてしまった現状などを見聞きし、里山の役割の重要性、人と自然の関わり方やあり方について学んだ。

【2日目 親睦ゴルフ大会】

一方ゴルフ組は、琵琶池ゴルフ倶楽部を舞台に熱戦を繰り広げた。澄み渡る秋晴れの下、会員同士の懇親が一層深まった。

優勝：野田 和郎氏（㈱ハヤブサドットコム代表取締役）

2位：郡司 祐一氏（㈱関東農産代表取締役）

3位：田村 実氏（㈱太陽警備保障顧問）



第4回社会貢献活動推進委員会 「アジア学院収穫感謝の日」視察

社会貢献活動推進委員会委員長
生方 玉也 (㈱エイム 代表取締役)

日 時：平成26年10月12日(日)

11:35~15:00

会 場：学校法人アジア学院

参加者：7名

アジア学院は、アジア・アフリカなどの“草の根”の農村指導者を育成する、世界でも例のない国際人材育成機関である。同友会ではこれまで、社会貢献活動の一環としてアジア学院への支援を行ってきたが、今後は企業とアジア学院との相互支援体制の構築も模索することになった。昨年6月には、同友会として初の試みである「企業合同研修会」を実施し、同友会会員企業の従業員13名が、非常に充実した研修を行った。

今後も、アジア学院を企業研修の場として活用し、アジア学院と各企業が相互に支援できる環境を確立させるため、アジア学院の行事である「収穫感謝の日」へ参加した。

収穫感謝の日イベント参加



学生ら自身が企画・運営したイベントへ参加した。多国籍のブースが並ぶ中、それぞれ好みの料理を頂いた。その後、アジア学院の生徒・教員らによるファッションショーや演奏を見学し、バザー品の購入なども楽しんだ。



大津理事長・荒川副校長との意見交換

同友会とアジア学院との相互支援のあり方や、同友会からアジア学院への今後の支援のあり方について意見を交換しあった。



(1) 相互支援のあり方について

来年度以降、企業合同研修会以外にも企業ごとに研修を行ってもらうための周知を行う。企業側には、国際的感覚を得るメリットがあり、人材の育成に貢献できる。企業の新人研修や管理職研修等の一環として、ぜひご利用頂きたい。

(2) 新たな支援の在り方について

アフィリエイトの利用（アマゾンのCSRの一環として、アジア学院のHPからアマゾンで買い物をすると、購入費の3%がアマゾンからアジア学院に寄付される）

など、様々な支援の仕方があるので、HP等を利用してアジア学院とつながりを持って欲しい。

皆様には、特段の御協力をお願いしたい。

地域活性化支援実行委員会
4プロ観戦ツアー 宇都宮ブリッツェン
(ジャパンカップ・クリテリウム観戦)
委員長 関 雅樹 (株) 関 取締役会長

日 時：平成26年10月18日(土)

14：00～16：30

会 場：宇都宮市大通り

参加者：20名

プロスポーツを通じた地域活性化を活動テーマとする当委員会では、昨年に引き続き、本県の誇る経営資源の象徴でもある4つのプロスポーツチームを応援観戦し、各チームの素晴らしさをPRするとともに今後の調査研究活動に反映させることとした。

今回は宇都宮ブリッツェンが出場したジャパンカップ・クリテリウムを観戦した。また試合観戦後、インディゴ85にて懇親会を行い、会員相互の交流を深めた。

【ジャパンカップ・クリテリウム観戦】



宇都宮ブリッツェンと宇都宮市のご厚意で、宇都宮表参道スクウェア3Fのコース全体を見渡せる特設観戦席、二荒山神社参道の特設観戦席より観戦することができた。

アジア最高位の自転車ロードレースである「ジャパンカップサイクルロードレース」のうち大通りを周回する「クリテリウム」は今回で5回目を数え、県内外から過去最高の約41,000人が集まった。

試合はゴール直前のスプリント勝負を制した、クリストファー・サットン選手（オーストラリア：チーム・スカイ）が優勝を飾った。宇都宮ブリッツェン勢は一時先頭に躍り出るなど最後までレースを沸かせたが、大久保陣選手の24位が最高位であった。

今回から車道上に設置された有料観客席「エキサイトゾーン」に、当委員会が小学生親子15組30名を招待し、子どもたちにスポーツ観戦の機会を提供した。

初めてジャパンカップ・クリテリウムを観戦した参加会員は、目の前で見るスピードと迫力、そして臨場感に驚き、興奮していた。またオリオン通りを中心に宇都宮の街全体が宇都宮ブリッツェンのチームカラーである赤に染まり、自転車の街宇都宮は大いに盛り上がっていた。

また、地域活性化支援実行委員会のフェロー会員である作新学院大学経営学部の小山准教授のゼミ生が、無作為による街頭アンケートを実施し、スポーツを通じた地域の活性化についての効果などについて調査した。



平成26年度 第2回栃木県経済同友会ゴルフ大会

日 時：平成26年10月25日(土)

会 場：宇都宮カンツリークラブ

参加者：22名

爽やかな秋晴れの中、宇都宮カンツリークラブにて平成26年度第2回栃木県経済同友会ゴルフ大会を開催した。参加者は22名、新ペリア方式により競技を行った。

【競技結果】

いざプレーが開始されると皆真剣な目付きとなり、白熱した大会になった。



第1組スタート時

競技結果は以下の通り。

優 勝：荒井 祥 氏（宇都宮土建工業(株)）

準優勝：佐山 良一 氏（(株)フォワード）

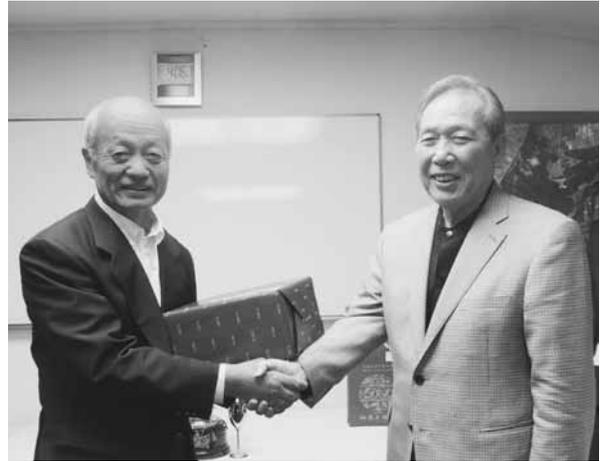
3 位：佐藤 伸之 氏（佐藤建設工業(株)）

宇都宮土建工業(株)の荒井氏が見事優勝の栄冠に輝いた。準優勝は(株)フォワードの佐山氏、3位は佐藤建設工業(株)の佐藤氏となった。

【表彰式・懇親パーティー】

競技終了後、クラブハウス内にて表彰式及び懇親パーティーを行った。亀田企画運営委員長の司会進行のもと順位やドラコン賞、ニアピン賞等を発表した。

優勝の荒井氏には小林代表理事から優勝カップ、優勝賞品が授与された。優勝カップ、優勝賞品授与の後、荒井氏より優勝者スピーチをいただいた。



小林代表理事から荒井氏への優勝賞品授与

今回も会員企業様から数多くの素敵な協賛品をいただき、抽選会も大いに盛り上がった。参加者全員に参加賞の他、特別賞をお渡しする事ができた。パーティー中にはゴルフ大会初参加者からのスピーチもあり会員同士の親睦が一層深まった。



第8回地域活性化支援実行委員会 ドイツ視察

委員長 関 雅樹 (株) 壯関 取締役会長)

日時：平成26年10月29日(水)～

11月3日(月・祝)

場所：ドイツバイエルン州ミュンヘン

参加者：11名

スポーツを通じた地域活性化について調査研究している当委員会では、Jリーグ百年構想のお手本となったドイツ・ブンデスリーガの試合観戦とサッカースタジアムの視察、モータースポーツでの輝かしい実績をもつBMWの視察を行った。

1. 行程概要

1日目 (10/29(水))

・羽田発12:50→ミュンヘン着16:55

2日目 (10/30(木))

・BMW視察
・サッカースタジアム視察
(アリアンツアリーナ)

3日目 (10/31(金))

・ミュンヘン郊外視察
(ノイシュバンシュタイン城など)

4日目 (11/1(土))

・ミュンヘン市内視察
・ブンデスリーガ試合観戦
FCバイエルンミュンヘン対
ボルシア・ドルトムント

5日目 (11/2(日))

・ミュンヘン発9:00

6日目 (11/3(月・祝))

・羽田着6:55 解散

2. ドイツ、ミュンヘンの概要

(1) 人口

ミュンヘンはバイエルン州最大の都市で州都。ドイツ国内ではベルリン、ハンブルグに次ぐ第3の都市で、人口は約137万人。ドイツ全体の人口は約8,000万人。E

U域内では最大、世界では第15位である。

(2) スポーツ文化

ドイツでは、国民の健康のためにできるだけ多くの遊び場や子どもからお年寄りまで楽しめるスポーツ施設を作ろうと、1959年にドイツオリンピック委員会が「ゴールデンプラン」を立てた。15年の長期計画で、国、州、市町村がそれぞれ資金を負担し、スポーツ施設の充実を図った。それぞれの町には人口に見合った規模のスポーツ施設が作られ、生涯を通じてスポーツを楽しむことが出来るようになった。その結果、ドイツのスポーツ人口は約4倍に増え、今や国民の6割がスポーツを楽しんでいるという。

(3) スポーツシュレー

地域ごとにスポーツシュレーというスポーツ施設がある。緑と湖に囲まれた素晴らしい環境の中、各種競技用のグラウンド、体育館、プールなどのスポーツ施設と、研修などが行える多目的ホールや宿泊施設が点在している。ここでは選手の強化・育成はもちろん、指導者の育成やクラブ運営に関わる人々の育成が行われ、スポーツの普及・発展に寄与している。

(4) ブンデスリーガ

世界の4大サッカーリーグと言われるイタリア、イングランド、スペイン、ドイツ。その中で、ドイツのブンデスリーガの観客動員数は世界一である。2012-13シーズンでの平均観客動員数は約45,000人、2位はイングランドプレミアリーグの約35,000人、3位はスペインのリーガ・エスパニョーラの約





40分移動すると、アウトバーン（高速道路）から蚕のような白い独特のデザインのスタジアムが見える。日中は白色だが、試合日の夕方にはバイエルンミュンヘン

ンのチームカラーの赤と1860ミュンヘンのチームカラーの青にそれぞれライトアップされる。夜空に浮かぶ鮮明な赤と青のスタジアムは、アウトバーンを走行中のドライバーを魅了し、試合の日には事故が多発するという。このスタジアム視察自体が一つのツアーとなり、世界各国から申込みが絶えないそうだ。

スタジアムに入ると、グッズを販売するファンショップやレストランがあり、多くの観光客で賑わっていた。スタジアム建物内部にはビールが流れるパイプラインが張り巡らされており、ビール大国ドイツを象徴する設備に驚かされた。

通路にはキオスクという売店が並び、ピザやソーセージなどの軽食やビールなどを販売している。ここでは現金の授受はなく、予め購入したプリペイドカード



で支払う。ここでは現金を扱わないことで効率化を図り、7万人の観客に対応している。

観客席からピッチを望むと、7万人収容の観客席の多さと見事に整備された天然芝の美しさに目を奪われた。観客席は3階まであり全て屋根付き。VIP席や障害者席も完備している。ピッチ上空には屋根がない。冬にはピッチに雪が積もらないように、天然芝の下には床暖房が整備されている。2006年に建設されたこのスタジアムの総工費約3億4,000万ユーロ（約476億円：1ユーロ=140円換算）は、チケット販売、売店やグッズ販売が順調に推移し、既に回収が完了しているようだ。



(3) ブンデスリーガ試合観戦

バイエルンミュンヘン対ドルトムントという1番の人気カードということもあり、試合開始時間前のミュンヘン市内は、両チームのユニフォームを着たサポーターがお祭り騒ぎで練り歩いていた。スタジアムで観戦できないサポーターはレストランやカフェでテレビ観戦をしながら盛り上がる。この光景は特別ではなく日常らしい。まるでW杯日本代表戦が毎試合あるような盛り上がりだ。

スタジアム近くには鉄道の駅があり、そこからスタジアムにかけて、約2万台収容できる4階～5階建ての広大な駐車場がある。これらは試合のない日にはパークアンドライドとして利用される。スタジアムを中心にした公共交通網が発達し、観客が訪れやすいインフラが整備されている。

スタジアムの入場ゲートは5つほどあり、うち1つは女性専用で優先的に入場できる。興奮した観客による暴動を警戒してか手荷物検査とボディチェックを受けて入場。座席はメインスタンド側1Fの前から8列目・9列目。最高の席で観戦することができた。今回の観戦では、元(株)栃木サッカークラブ松本育夫常務様にご高配を賜った。

試合開始まで様々なイベントや場内アナウンスが流れ、観客を飽きさせない雰囲気を作り出していた。まわりを見渡すと、バイエルンミュンヘンの赤のユニホームを着たサポーターで埋め尽くされ、アウェイのドルトムントの黄色は2階・3階席のごく一部だけ。ドルトムントからすると圧倒的なアウェイだ。しかし、サポーターによる応援合戦や試合中の応援では、声援の大きさや統一感など、全くバイエルンに引けを取っていない。少数ながらも一糸乱れぬ応援に清々しささえ感じた。

試合は、前半は香川選手が先発出場したドルトムントが優位に試合運び1点先制。後半途中に香川選手が交代してからはバイエルンが逆襲。ポーランド代表レバンドフスキ、オランダ代表ロッベンのゴールで逆転。そのまま2-1でバイ



エルンの勝利。テレビでしか見る事のなかった世界のトッププレイヤーを間近に見ることができ、彼らの動きの速さやボールタッチの巧みに驚かされた。またスタジアムの盛り上がりも凄まじく、ゴールを入れた後の歓声には圧力が感じられ、手に持っていたビールがコップの中で震えるほどだった。

(4) 最後に

ブンデスリーガは日本サッカーのまさに理想形ではないだろうか。

国家レベルで統一された指導方針に基づき、競技者と指導者、そしてクラブ経営者としての人材育成プログラムが充実し、かつその施設が地域ごとに存在する。地域はスポーツクラブを通じて、地域の活性化を図ることで、スポーツは単なる運動競技ではなく、スポーツ文化として地域に根ざしている。スポーツの地位は日本よりも高い。

クラブ経営についても健全経営がなされている。スタジアムの平均稼働率90%超は驚異的だ。またスタジアムなどの設備も充実しており、スタジアム自体が観客を魅せるコンテンツのひとつになっている。そしてスタジアムを中心とした街づくりが行われ、公共交通機関と自動車が共存できるパークアンドライドなどが有効に機能している。栃木県、日本にとっても見習うべき点の多い実りある視察であったと思う。ただ1つ残念だったのは、観客席が禁煙・分煙されていなかった点だ。この点は日本の方が進んでいる。



地域活性化支援実行委員会
4 プロ観戦ツアー
リンク栃木ブレックス
委員長 関 雅樹 (株) 関 取締役会長

日 時：平成26年11月15日(土)
17：00～18：30

会 場：ブレックスアリーナ宇都宮
参加者：25名

プロスポーツを通じた地域活性化を活動テーマとする当委員会では、本県の誇る経営資源の象徴でもある4つのプロスポーツチームを応援観戦し、各チームの素晴らしさをPRするとともに今後の調査研究活動に反映させることとした。

今回はリンク栃木ブレックスのホームゲームを観戦した。また、試合終了後、鮭・旬魚美酒 釜川にて懇親会を行い、会員相互の交流を深めた。

当委員会では、今年度より子どもたちにスポーツ観戦の機会を提供する事業を開始し、同チームで実施している「キッズモチベーションプロジェクト」を受講した小学生をホームゲームに招待している。

【ホームゲーム観戦】

リンク栃木ブレックスVS千葉ジェッツ

2年目を迎えた日本のトップリーグであるNBLに参戦しているリンク栃木ブレックス。ここまで6連勝中と絶好調のチームを応援しようと、リニューアルされたブレックスアリー



ナ宇都宮には2,165人の大観衆が集まり、千葉ジェッツを迎えた。

試合は、立ち上がりこそ攻撃のリズムが悪くリードを許していたが、ディフェンスからの速攻などで逆転。第1ピリオドを22-16と6点リードで終えた。第2ピリオド19-16、第3ピリオド27-23と優勢に試合を進め、第4ピリオドこそ21-21であったが、結局89-76で勝利。連勝をチームタイ記録の7に伸ばした。

チームの勝利と会場でのイベント演出の面白さも相まって、会場は大変盛り上がり、チームと観客が一体になった。

参加した会員からは、攻守の切り替えが早く、ボールや選手の動きがスピーディーで、また試合前や休憩時間中の演出も面白く、会場に足を運んだ観客を飽きさせない工夫がなされていた、また観戦に行きたい、などと感想があった。



地域活性化支援実行委員会
2014とちぎ熱気球インターナショナル
チャンピオンシップ
委員長 関 雅樹 (株) 関 取締役会長

日 時：平成26年11月23日(日)
7：00～16：00

会 場：宇都宮市鬼怒川河川敷（道場宿緑地）
参加者：12名

11月20日から24日までの5日間に渡り「2014熱気球ホンダグランプリ」の最終戦として「2014とちぎ熱気球インターナショナルチャンピオンシップ」が開催された。野木町出身で昨年のチャンピオンである藤田雄大選手を始め、世界各国から一流のパイロットが集結し、空の上で熱い戦いが繰り広げられた。



当委員会は、熱気球大会を栃木県の新たな観光資源として地域に根付かせ、地域が主体となって地域の活性化が図れるように、清原地区の市民団体である「きよはら鬼怒川ロマンの会」にステージイベント事業を引き継ぎ、



側面的に支援してきた。

また、県内の小学生を対象にした絵画コンクール「熱気球のある風景」の入賞者の表彰式も行われた。29校500作品の中から選ばれた最優秀賞・優秀賞・佳作入賞者に、地域活性化支援実行委員会の内藤副委員長から表彰状の授与が行われた。最優秀賞に輝いた益子町立七井小学校6年の石川恵羅さんの描いた絵画が大会公式プログラムの表紙とポスターに採用された。さらに、最優秀賞・優秀賞入賞者の2名は、副賞として競技用の熱気球への搭乗体験、また佳作入選者9名には会場内での同友会の熱気球を使った係留体験をしていただいた。



会場内のステージイベントでは、清原地区のお囃子会、よさこい、作新学院大学によるストリートダンス、白楊高校服飾デザイン科によるファッションショーなどの他、バルーンアートのクリオーネ氏のショーなどが行われ、観客も楽しめるイベントとなった。



また同友会からは㈱カナメ様が出展。清原地区が出店したけんちんうどんややきそばなどとともに、大変賑わっていた。

一般来場者を対象にした係留体験にも長蛇の列ができており、熱気球に搭乗した子どもたちは、上空から見るいつもと違った風景を楽しんでいた。



【㈱カナメ様のブース】



【清原地区の出店した飲食ブース】



【バルーン教室の様子】



【絵画展示ブース】

第3回社会問題委員会 ぶらっと視察

委員長 水沼富美男 (榊木サッカークラブ 代表取締役社長)

日時：平成26年11月27日(木)

9：30～11：30

会場：とちぎ生涯現役シニア応援センター
参加者：15名

社会問題委員会では、「高齢者が元気で輝く社会づくり～高齢者のキャリアとスキルを求めて～」を活動テーマに調査・研究を行っております。この度、10月に開所し高齢者の社会貢献から就労までの多様なニーズに対応する「とちぎ生涯現役シニア応援センター“ぶらっと”」を訪問。同センター長 菊地道子氏に説明を受けたのち、県庁に場所を移し、県の高齢者労働力の考え方について保健福祉部高齢対策課長、産業労働観光部労働政策課長等とディスカッションを行った。

「とちぎ生涯現役シニア応援センター“ぶらっと”の視察」



とちぎ生涯現役シニア応援センター長 菊地 道子 氏

【職員配置】

生涯現役推進員2名（うち1名はセンター長）、キャリアカウンセラー1名、事務員1名。

【設置趣旨】

意欲と能力のあるシニア世代の方々が、その知識と経験を活かして地域社会の支え手として、健康で誇りを持って生涯を送ることができる「生涯現役社会」の実現を目指して、

シニア世代の社会参加活動を応援するために設置。ボランティアから就労まで、多岐にわたる社会参加活動についての相談に、ワンストップで対応する機関。

【愛称“ぶらっと”】

シニア世代の方々が充実したセカンドライフを送るためのプラットフォームとして活用していただけるよう、また、地域の様々な活動支援機関を繋ぐネットワーク作りの拠点になることを願って名付けた。

【対象者】

これから新しく何かを始めたいと考えているシニア世代の方。直接出向けない方については電話相談、HPからのネット相談も実施。本人でなく家族等からの相談にも応じる。

【立地】

同じ建物1Fに、「とちぎジョブモール」「宇都宮新卒応援ハローワーク」が、2Fには「ハローワーク宇都宮駅前プラザ」が併設されており、関係機関と連携しながらワンストップを実現するため同じ建物内に開設した。

【対応】

受付で来所目的を記載。相談目的の方からはこれまでの経験や希望などを伺う。その内容を基に適した機関に連絡調整の上紹介する。何かをしたいが、何をして良いか分からない方の相談にも応じている。1人1時間～1時間半かけて相談に応じている。

生涯現役社会の一翼を担うシニアの方々の新たな応援機関として広く県民の皆様に認知されるようPRに努めていきたい。

【主な質疑応答】

- Q. 生涯現役推進委員とキャリアカウンセラーの違いは？
- A. 就労を希望する相談者でキャリアカウンセリングが必要な方にはキャリアカウンセラーが対応することとしているが、基本的には、両者が相談に応じることとしている。

- Q. センターを通じて就労に結び付いた件数を把握しているか？
- A. 紹介状を取り付けた方も含めて3割位である。今後も追跡調査を行い、取組みの成果を確認して行きたい。
- Q. 資料が福祉系の物しかない。高齢者向け求人の資料などはないか？
- A. 具体的な求人の資料はない。そのこともあり、ハローワークやとちぎジョブモールと同じ建物に開設した。



“ぶらっと”視察風景

“ぶらっと”視察後、場所を県庁に移し保健福祉部高齢対策課長 石崎金市氏、産業労働観光部労働政策課長 高瀬一宏氏を交えてディスカッションを行った。

【とちぎ生涯現役シニア応援センター

ぶらっとの実績について】

保健福祉部高齢対策課

1. 利用者数（H26.11.25現在）
- | | |
|-------|-----------------|
| 利用者総数 | 133名（男80名 女53名） |
| 利用形態別 | |
| 相談 | 60名 |
| 資料閲覧 | 61名 |
| その他 | 12名 |
2. 相談者の年齢構成
- 60歳未満…18.3%、60～69歳…51.7%
70～79歳…25.0%、80歳以上… 5.0%
3. 相談内容
- | | |
|-------------|-------|
| 仕事がしたい | 58.0% |
| 今後の生き方を考えたい | 15.9% |
| ボランティアをしたい | 15.9% |

その他（情報収集）	8.7%
学びたい	1.5%

【高齢者の雇用の現状について】

産業労働観光部労働政策課

1. 高齢者の雇用の現状

平成22年の国勢調査による本県総人口に占める65歳以上の高齢者人口は22%であり、平成32年には28.8%（推計）となる。

2. 本県内における年齢別労働力人口の推移
全体における55歳以上の高齢者の割合（昭和55年…17.5% 平成22年…30.6%）労働力人口の高齢化が年を追うごとに進んでいる。

3. 高齢者雇用確保措置

本県における高齢者雇用確保措置（定年制の廃止・定年の引き上げ・継続雇用制度の導入）の実施済み企業は99.7%と全国2位。

4. 60歳定年企業における定年到達者等の状況

企業数	948社	定年到達者総数	3,415名
うち継続雇用者数	2,873名		(84.1%)
うち定年退職者数	535名		(15.7%)

5. 各種施策

(1) 国の施策

- ① 生涯現役社会実現環境整備事業
- ② 高齢者就労総合支援事業
- ③ 高齢者雇用に係る助成金 など

(2) 県の施策

とちぎジョブモールの概要

① 設置目的

雇用情勢が厳しい中、様々な課題を持った求職者に対し、就職活動に向けての様々な相談から、個々の能力や特性を踏まえたキャリアカウンセリング、職業紹介から職場定着までをワンストップで総合的に支援。

② 支援対象者

若年者・中高年齢者・障害者など

③ 業務内容

- ア 総合相談
- イ キャリアカウンセリング
- ウ 各種セミナー・能力開発
- エ 専門相談
(高齢者・障害者・農業・林業)
- オ 企業情報等の情報発信
(HP: WORKWORKとちぎ)
- カ 職業紹介
(併設「宇都宮新卒応援ハローワーク」)

④ 利用状況 (H25. 4月～H26. 3月)

利用者総数	21,380名
(内訳) 年齢別	
10代	2,086名 (9.8%)
20代	14,593名 (68.3%)
30代	2,293名 (10.7%)
40代	1,093名 (5.1%)
50代	810名 (3.8%)
60代以上	418名 (2.0%)
年齢不明	87名 (0.4%)

【主な質疑応答】

- Q. 高齢者を雇用する企業が少ない中、福岡では高齢者雇用事例集を作成し、あとに続く企業の拡大を図っているがこのことについてどのように考えるか？
- A. 産業労働観光部労働政策課
HPのWORKWORKとちぎ内に1,200社程度から寄せられている「企業情報」「求人情報」において、情報提供を行っている。
保健福祉部高齢対策課
ぶらっとの機能を、将来的には各市町村で持ってほしいと考えている。
そこには、今後県が養成するシニサポーターが収集した事業所からの高齢者求人情報なども提供していきたいと考えている。
- Q. 就労からボランティアまでを扱う“ぶらっと”を視察した感想としてボランティア色が強い事について。
- A. 既にジョブモールがある中で、すみ分けをどうするか課題となり、就労も行うが

重複しない部分でボランティアを取り扱うこととした。また、本県は47都道府県で唯一、シルバー人材センターを福祉部門が持っていることから中間就労を含めた総合相談を行うこととした。開所後、就労に関する相談が58%だった事を踏まえて今後検討する必要がある。

Q. 行政側から経済団体への要望は？

A. ジョブモールHP内の「WORKWORKとちぎ」などに掲載する企業の紹介を頂きたい。

また、本日紹介した施設等を御活用いただき、会員企業様の情報発信の場としてもご利用願いたい。



県関係部署とのディスカッション風景

【まとめ】

最後に水沼委員長より「当委員会としてはボランティアという社会参加も必要だが、今後、年金支給額の低下・支給時期の延期や健康寿命の延長に伴い高齢者の就労ニーズは増加する中で福岡県70歳現役応援センターの様な実効性ある仕組みが必要と考える。建物が同一という「ワンストップ」ではなく「業務自体がワンストップ」となるため、ジョブモールで行っている高齢者の就労機能を高めることや、“ぶらっと”でも求人情報を閲覧できるなどの仕組みが必要と考える。高齢者雇用の受け皿側である経済団体としても行政とともに高齢者就労の「栃木モデル」を協働して作っていったら幸いである。」との挨拶をいただき行政とのディスカッションを終了した。

未来経営研究会 第3回例会
益子視察
代表世話人 野田 和郎
(株)ハヤブサドットコム 代表取締役

日 時：平成26年12月3日(水)～4日(木)
場 所：益子町
参加者：22名

「経営者としての人間力向上」を活動テーマとしている当研究会では、第3回例会として益子町の視察を行った。多くの学びとともに参加者の親睦も深まり、有意義な2日間であった。

【益子焼の陶芸体験】

「陶芸教室よこやま」にて横山貴史氏の指導の下、陶芸体験を行った。製作に入る前に、横山氏より益子焼の歴史等の講話をいただいた。

ろくろの前に座り製作に入ると、思いのほか難しく、陶芸の奥深さが感じられた。ろくろを一人前に扱えるようになるには、最低6年(ろくろろくねん)と言われているそうである。

一瞬でも気を抜くと形が崩れてしまうので、製作には集中力がとても重要であった。



【森のレストランでの昼食】

陶芸体験後には「森のレストラン」にて昼食をとった。ここは益子町の人気店である。静かな森の中を深く進んでいくと、陶器のオブジェが迎えてくれた。店内ではスタッフの親切丁寧な対応に触れ、人気の秘密が分かったような気がした。経営上の「人」の大切さを再認識した。



【里山リゾートホテル益子館での意見交換会】

里山リゾートホテル益子館にて、忘年会を兼ねた意見交換会を行った。野田代表世話人から「これからも当会は調査研究活動の他、新入会員が同友会に参加するきっかけ作りにも注力していきたい」とのお話があった。

当ホテルの女将、高橋美江氏は度々メディアに取り上げられる有名女将である。ロックバンドを結成しており、土曜日には当ホテルにてドラムを叩いている。意見交換会に参加していただき、地域資源を利用した地元活性化策の考え等のお話をいただいた。今後は自転車イベントやランニングイベントにも積極的に関わっていきたいとお話があった。

【親睦ゴルフ大会】

太平洋クラブ益子コースにて、親睦ゴルフ大会を行った。風が強く難しいコンディションだったが、ゴルフを通じ参加者の親睦が深まった。

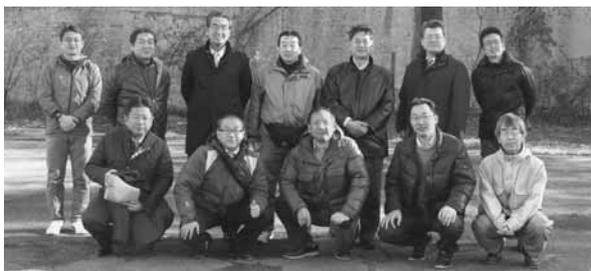
結果は以下の通りであった。

優勝：柿沼 幹郎氏 (株)カキヌマ 代表取締役社長
準優勝：藤咲 光司氏 (株)奴寿司 代表取締役
3位：中村 雄三氏 (株)アクティチャレンジ 代表取締役

栃木交流研究会
大谷アンダーグラウンド視察
栃木交流研究会 会長 渡邊 善一
(日本電気(株)宇都宮支店 支店長)

日 時：平成26年12月 5 日(金)

会 場：大谷石採石場、大谷寺 他



今年度2回目となる視察は、かつて大谷石材産業で栄えた大谷地区を訪れ「大谷石採石場跡地見学と地底湖クルージング」をメインに、栃木の産業の歴史に触れた。まさに、今、“大谷石”ブランドを確立している採石場の跡地として再び脚光を浴びようとしており、その自然とも人工とも言い切れない地下空間を体験した。



大谷石採石場見学（現在稼働中の採石現場）

大谷石販売、商品開発を行っている(有)高橋佑知商店を訪ね、手掘り時代から機械掘りに至る歴史、大谷石に付加価値をつけるための商品開発の説明を受けた。

採石場跡地（明治期以前）見学と地下クルージング

主に明治期以前の採石場を視察した後、雨水や地下水が溜まってできた地底湖をラフティングボートでクルージングした。年間を通して5～10℃と安定した気温であり、暗闇と神秘



的な景色に思わず言葉を失った。その後、切り立った断崖に設けられた採石場跡地にて強い風に煽られながらも温かいランチを楽しんだ。

天開山大谷寺拝観

【①特別史跡②重要文化財③名勝という国の指定を3つ受けている、国内でも極めて珍しいお寺】

ご本尊である大谷観音（千手観音）は、平安時代初期に弘法大師の作と伝えられている。鎌倉時代に坂東三十三観音の十九番札所に定められ、多くの人々の信仰を集めてきた。ここでは、大谷寺職員の齋藤絹江氏のご案内で大谷寺の歴史や発掘時の様子が紹介され、非常に興味をそそられた。

今回の視察は、(株)ファーマーズフォレストをはじめとする4社により設立された「LLPチイキカチ」のご協力のもと、当会のために特別に企画していただいた。このツアーは、活用されないままの採石場跡地を資源として捉え、知られざる大谷の魅力を発信し、地域の活性化につなげるプロジェクトの第一弾である。今後の展開が非常に楽しみである。





講師：司 淳 氏

S M B C 日興証券(株) 投資情報室 部長

1986年 関西学院大学経済学部経済学科卒
 1986年 日興証券入社、日興リサーチセンターに出向
 ～証券調査部～経済調査部～投資戦略部～
 1988年 (旧)大蔵省 財政金融研究所に研究員として出向
 1990年 日興リサーチセンターに復帰、日興証券で情報室、事業 戦略部、ビジネス調査部、日興コーディアル証券・国際市場分析部、S M B C 日興証券・金融経済調査部などを経て現在に至る。

日 時：平成26年12月17日(水)

16：00～17：30

会 場：ホテルニューイタヤ

参加者：36名

【講演要旨】

1. 日本を取り巻く海外経済の動向

(1) 海外経済の見通し

◆世界経済の現状

～先進国主導で回復、新興国回復遅れ～

現在、世界経済は先進国主導で回復しており、新興国は回復が遅れている。先進国の中ではアメリカが一番回復しており、日本は安倍政権発足後に良くなったが、消費税増税の影響でいったん落ちたあと、現在は少し上向いている。

◆欧州経済の現状

～ユーロ圏は回復の勢い鈍りデフレ懸念、英国も頭打ち～

ユーロ圏経済は2013年半ば以降、ドイツ主導で回復に向かってきた。しかし、ドイツが頭打ち、フランスが停滞、イタリアが悪化するなど全体として停滞している。現在、ドイツで底打ち感が出ているという明るいニュースがある。

◆新興国経済の現状

～持ち直しには時間がかかりそう～

新興国をみると一番苦しいのがロシア経済である。欧州とウクライナ問題で経済制裁を

受け、また原油安・ルーブル安と三重苦を受けている。ただ、ロシアの対応次第では、アメリカが経済制裁をやめる話もあるので、ロシアの出方次第で、少し前向きな動きが出てくる可能性がある。

◆IMF世界経済の見通し

～世界経済はバラツキが一層拡大、インフラ投資促進～

世界経済成長率は2014年が3.3%、15年が3.8%の見通し。7月時点に比べて、世界経済を取り巻く環境は「やや悪化している」と、14年は0.1pt、15年は0.2pt下方修正された。ユーロ圏や新興国の回復の遅れや地政学的緊張などが背景にある。

世界経済のバラツキが一層拡大している。米英はいち早く金融危機から脱却しつつあるが、ユーロ圏は険しさを増している。日本の成長率は消費税後の景気回復の遅れが響き、14年は大幅に下方修正された。ただ円安で輸出も緩やかに回復し、年後半は足取りが強まるとしている。新興国では中国の減速傾向は不変、中国以外の国は緩やかに回復するが、ロシアやブラジルの成長見通しは先行き不透明感から下方修正された。リスクは、地政学的リスク、欧州のデフレ懸念等。G20ではインフラ投資の促進策が議論の柱となっている。

◆米国：米景気は寒波の影響一巡後に大幅回復し、堅調に推移する見込み

先行きのアメリカの成長率は、市場コンセ

ンサスで2%台後半である。アメリカの潜在成長率は2.0%であるのに、それを上回るのは、これまでの量的金融緩和の効果と現在のゼロ金利があるからで、実力以上の成長が続くとみられる。

◆米国：2014年10月FOMC～労働力の未活用は解消しつつ、「相当な期間」残る～

金利の引き上げが始まるは2015年半ば頃とみられている。アメリカの景気動向は最初に雇用面に出てくるが、時給の伸びがなかなか回復してこない。今の雇用情勢ならば、時間当たり賃金は前年比で3%ぐらいまで上がってもよいが、まだ2%台前半にとどまっている。消費者物価は半分以上はサービス価格が占めるため、賃金が上がれば物価指数も上がる。しかし、今は賃金の伸びが緩やかなので、まだ利上げする環境が整っているとは言えない。毎月の雇用統計（時間当たりの賃金）を注視する必要がある。

◆中国経済と四中全会

～法治国家は改革推進への環境整備～

中国景気は減速傾向を辿った後、底打ちを探る展開となっている。当面、実質GDP成長率は7%台で成長が続くが中長期的には大きな構造問題を抱えているため、減速傾向となる。

◆中国の構造改革

中国は、貧富の格差・高齢化・非効率な経済・深刻な公害・汚職・政府債務問題等の諸問題を抱えているが、習国家主席は、これらを2020年までに結論を出すとしている。改革の実現には、既得権益を手放したくない共産党幹部をねじ伏せる権力が必要で、習主席はそれを握った模様だ。

◆日中関係改善と経済への期待

～政治的ブレーキは緩み、経済は活発化へ～

その証拠として、2年半ぶりに日中首脳会談が実現した。関係改善に向けた第1歩であり双方とも慎重に歩みを進める構えである。政治的ブレーキが緩和されれば、早晚、日中の経済関係も前向きに動き出しそうである。

(2) 地政学的リスク

◆中東情勢と原油価格

通常、地政学的リスクが高まると原油価格

は上がり円高になるが、今回は逆の動きである。

2010年終わりに『アラブの春』（民主化運動）が始まり1バレル100ドル台に乗った。その後3年間100ドル台で推移したが2014年に入り急速に落ちてきた。

◆原油価格に影響を及ぼす要因

～需給の緩みが長引くとの思惑～

原油価格に影響を及ぼす要因のうち「需要」では、中国経済の減速基調・世界景気回復の遅れによる需要減退観測。「供給」ではOPECの減産見送りで供給過剰感の強まりがある。世界経済の成長率はプラスであり需要は増える。一方、供給は減産の見送りにより横ばいなので原油価格は上昇の要因になるが、今は思惑を中心とした将来の需給に対する懸念から下落している。金融要因として、ドル高の場合は、ドル建て原油価格は相対的に低下する要因となる。本来、地政学的リスクは中東情勢の不安定化・長期化が残っているので原油価格は上昇する要因になるのだが、反対の動きとなっている。日本のような資源輸入国にとって、原油価格の下落はプラスとなる。

◆最近の原油価格の動向

～原油価格下落は日本経済を下支え～

原油価格は為替相場にもよるが、1バレル＝100ドルの場合、1ℓ＝160円程度になる。現在、1バレル＝50ドル台まで下がっているので、1ℓ＝120円を下回ってもよいはずだが、12月初旬で1ℓ＝155円である。タイムラグがあるので、価格はこれから下がっていくと思う。

2. 日本経済・市場の動向

(1) 消費税増税後の日本経済の動向

◆日本経済見通しのポイント

日本経済の現状は、個人消費や公的需要などが牽引し、緩やかに回復している。先行きは、民間設備投資や輸出の持ち直しによって、消費増税による需要の振れを乗り越えて緩やかな回復基調を維持する見通し。リスクはあるが景気が腰折れする可能性は低い。また、日本経済最大の課題であるデフレ脱却については注目される消費者物価は前年比1%台前半まで上昇したが1%割れした。先行きも上

昇率が高まるかは賃上げや為替相場の動向が大きい。日本経済の先行きは、個人消費の持続性・企業の設備投資や雇用態度が重要なので、アベノミクス第3の矢「成長戦略」が最大のポイントである。

日本経済は消費増税による振幅を乗り越えて徐々に回復軌道に戻る。14年度、実質GDP成長率は▲0.5%に落ち込むが、15年度は+2.1%の成長へ。要因は①米景気回復と円安など外部環境の改善、②労働力不足から賃金上昇や設備投資が刺激される自律回復力、③金融政策と財政政策である。

◆消費税率引き上げ後の経済動向

アベノミクスによる金融市場や企業・家計のマインド改善を受けて実体経済が好転したが、消費税の引き上げによって後退した。4-6月は駆け込み需要の反動減が主因であったが、7-9月は在庫投資調整によるところが大きく、先行きの生産活動には明るい兆しとなっている。しかし、増税後の個人消費の戻りが弱いので何らかの手だてが必要な状況。実質GDPは右肩上がりでも推移しているが、肌で感じる名目GDPは横ばいである。名目GDPを右肩上がりにもっていくのがアベノミクスである。

◆好循環に向けて

～円安でも輸出は横ばいだが、生産や設備投資は回復へ～

円安が進展しても、現地生産比率の上昇や、輸出価格をさほど引き下げなかったことなどから輸出数量は横ばいで推移。生産は消費増税の「駆け込み」と「反動」を経て、在庫調整が進展、生産も底打ちの兆しが見えてきた。企業収益の回復を受けて、設備投資も上向きに転じてきた。設備投資の先行指標をみると消費増税に伴う「駆け込み」と「反動」から抜け出しつつある。

(2) 正念場を迎えるアベノミクス

◆アベノミクスについて

～2015年アベノミクスは正念場を迎える～

アベノミクスの『3本の矢』①大胆な金融政策、②機動的な財政政策、③民間投資を喚起する成長戦略。1・2本目の矢は成功したが3本目の矢は効果が出るまでに3～5年かかると言われている。知名度は低いですが4本目

の矢として財政健全化の具体策を示した。1・2・3本目で経済を再生して、それと同時に財政健全化も達成させるという目標をたてている。2015年は先送り（消費税増税・女性の輝く社会等）したツケを払う『向かい風』の中で、デフレ脱却に向けてアベノミクスを加速させるという正念場を迎える。

◆アベノミクスの本質

～デフレ脱却に向けたインフレ目標と成長戦略～

日本経済の実力である潜在GDPは右肩上がりである。供給側から推定した潜在GDPと需要側から推定した実質GDPは2本が重なるとデフレ脱却できる。需要が少ないから物の値段が下がるという『デフレ圧力』がマクロ的に加わっている。消費税増税前まで、潜在GDPに対し実質GDPが不足する「デフレギャップ」はあと1兆円にまで近づいたが、増税後2四半期連続でマイナス。増税をしなければ超えていたかも知れない。

過去、デフレギャップが解消されたことが2回あった。一つは小泉構造改革で進めた戦後最長の景気拡大期。もう一つは80年代後半のバブル期である。デフレを脱却しインフレになれば財政再建しやすい環境になる。

◆デフレとインフレ

～デフレはおカネを使わない方が得、

インフレは使わないと損～

デフレとは物価が下落し続けることでお金の価値が上昇していく。逆にインフレは物価が上昇し続けるのでお金の価値は下落する。デフレの悪い点はお金の価値が上昇するので使わなくなる。だから経済は縮小していく。ただ、物価が下がるのはお金の価値が上昇するから良いと思われるが続けていくと経済は縮小する。第一次安倍内閣は第2・3の矢だけで続け、第1の矢がなかったから1年で終わった。だからデフレ脱却しインフレになるとおカネを使わないと損になる。しかし物価だけが上がっても賃金が上がらないと困るので、長期的関連性から物価上昇率が2%を目標とする場合、時間当たりの賃金は4%上昇しなならない。デフレの間、企業はおカネを使わない方が得だったのでため込んだ。しかし一人当たりの給与は減ってきている。こ

れでは好循環とならない。これから物価は上昇しインフレになっていくのだから、設備投資や賃上げなど、マネーを有効に使わないと損だ。

◆賃金と物価

～消費増税分を除くと実質賃金のマイナス幅は縮小へ～

「名目賃金は伸びているが、物価上昇に追いつかないため、実質賃金の伸びがマイナスのまま」と言われている。ただ、物価上昇率から消費増税分を除くと緩くなり0.9%となる。これを2%へ引き上げようとしている。実質賃金はマイナスであるが消費増税分を除くとマイナス幅は縮小しているので2015年半ばには実質賃金で消費増税分を除くとプラスに転じる可能性がある。アベノミクスは2015年半ばにかけて『向かい風』となるが、実態経済はプラスに転じる可能性が高い。

◆企業が先行きをどう見ているか？

～設備投資増やすも海外か？～

企業は為替に変動されないため海外生産比率を高めようとしている。このため国内で設備投資を伸ばすにはそれなりのインセンティブが必要なので成長戦略は不可欠である。

◆日本再興戦略改訂の基本的な考え方

～キーワードはローカル・アベノミクス～

アベノミクスの「3本の矢」で日本経済はあらゆる面で上昇局面を迎えている。しかし日本経済を持続的な経済成長軌道に乗せるためには、成長戦略の進化による更なる構造改革が必要不可欠となる。その為、「日本再興戦略」の改訂版では、施策の進捗状況等を検証するとともに、残された10の重要な課題にフォーカスして改革の方向性を提示した。

1. コーポレートガバナンスの強化
2. 公的・準公的資金の運用等見直し
3. 産業の新陳代謝とベンチャーの加速
4. 法人税改革
5. イノベーション推進・ロボット革命
6. 女性の活躍推進
7. 働き方改革
8. 外国人材の活用
9. 攻めの農林水産業の展開
10. 健康産業の活性化・ヘルスケアサービスの提供

◆総選挙結果と今後の展望

～アベノミクスの加速しか道はない～

今回の総選挙で、自民党は291議席を獲得したが公示前の295議席に届かなかった。公明党と合わせて公示前と同じ326議席を維持し、再び衆院の3分の2である317議席を超えた。しかし、選挙結果から判明した「勝ち過ぎ」批判や「反自公」票に対して、今後安倍総理はアベノミクスを加速させていくしか道はない。2015年前半でアベノミクスは正念場を迎える。

◆なぜ消費税なのか？

～安定財源もいいが右肩上がりのトレンドへ～

消費税収は所得税収や法人税収と異なり景気や人口構造の変化に左右されにくく安定しており高い財源調達力が特徴である。2014年度、税収で最も多いのは消費税収となった。しかしデフレ脱却によって右肩上がりのトレンドに持っていく必要がある。

◆一般会計税収、歳出及び国債発行額の推移

～増税だけでは財政は再建しない～

現在、一般会計歳出と税収には大きな乖離があり、その差は国債を発行して賄っている。この乖離幅を縮めなければならない。過去、小泉内閣時代の4年間は縮められることができたので不可能ではない。

◆第3次安倍内閣

～2015年に先送りしたツケを払い、2016年参院選で審判～

解散総選挙を行ったので、衆院の任期が4年に延びた。しかし、2015年に入って以降、増税以外に集団的自衛権や原発再稼働など賛否の別れる案件を先送りしたツケを払うことになる。政労使会議で次の春闘は賃上げを要求した。遅れがちなデフレ脱却に向けて2015年こそアベノミクスが正念場を迎える年になる。また、夏に策定する財政健全化計画の内容が注目される。



平成26年度 ファミリークリスマス会

日 時：平成26年12月18日(木)
18：30～20：30

会 場：宇都宮東武ホテルグランデ

一年の締めくくりに開催される、恒例のファミリークリスマス会が今年も開催された。この会は、会員とその家族を招待し、お互いの親睦を目的とした、大変和やかで華やかな行事である。年末の忙しい時期にも関わらず、お子様・お孫様をお連れのご家族やご夫婦でのご参加など、総勢146名で、過去最多の人数となった。

はじめに板橋筆頭代表理事より開会の挨拶がなされ、「会員同士の親睦をより一層深め、今後とも栃木県経済同友会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。」と述べられた。



小林代表理事による「メリークリスマス」の乾杯のご発声とともに、ファミリークリスマス会がスタート。



第1部は演奏を聴きながら会食をお楽しみ頂き、第2部は毎年恒例のプレゼント抽選会、

そして第3部に再び音楽の演奏とパフォーマーによるアトラクションを楽しんで頂いた。

今回は、栃木県初のプロオーケストラ「M C Fオーケストラとちぎ」からの選抜チーム「プラス・ミュージシャンズ・バザール」の皆様と、ジャグリング世界3位の実力者 yoshi (ヨッシー) とキグレサーカス出身の nana (ナナ) によるユニット「talattalatta (たらったらった)」をゲストに迎え、クリスマスソングや演奏会、プチサーカスで会場を盛り上げて頂いた。

【出演者（敬称略）】

- ① プラス・ミュージシャンズ・バザール
大久保理恵（チューバ）
林 美智子（トランペット）
田村 和久（トロンボーン）
クロス 理絵（パーカッション）
大桶 愛子（ピアノ）
小林 郁子（ホルン）
- ② talattalatta (たらったらった)
yoshi (ヨッシー) & nana (ナナ)

【第1部 会食と演奏】

BGMを聞きながら会食と会話をお楽しみいただいた。参加者同士でご挨拶をする様子や、家族サービスする様子などが見受けられた。また、talattalatta のお二人がバルーンアートなどで各テーブルの子供たちを楽しませた。



【第2部 プレゼント抽選会】

サンタクロースに扮した田口マネジャーとトナカイに扮した高野マネジャーがスポットライトを浴びて登場。会員の皆様からご提供頂いた数多くのプレゼントが参加者に手渡された。



【第3部】

(1) 演奏会



第2部の盛り上がりや冷めやらぬまま、ブラス・ミュージシャンズ・バザールによる演奏会が催された。お子様にも参加して頂き、平成26年に流行したディズニーアニメ「アナと雪の女王」主題歌「ありのままで」を合唱した。

途中、会員の渋井誠さんによるハーモニカの飛び入り参加も重なって、会場は大変盛り上がり、フラッシュの嵐となった。



(2) プチサーカス

talattalatta お二人による、コメディージャグリングとプチサーカスが演じられた。子供たちがステージに集まり食い入るように見つめる中、コミカルでアクロバティックな演技で会場は大いに盛り上がった。



演技終了後には参加者を代表して斎藤正治様のお孫様、斎藤楓羽香ちゃんと藤咲光司様のお孫様、藤咲光琉くんからブラス・ミュージシャンズ・バザール代表の大久保理恵様とtalattalattaのnanaちゃんに花束の贈呈をして頂いた。



そして最後に、奥本理事から閉会の挨拶と共に、参加者全員による拍手によって、2時間に及ぶ、大変華やかなファミリークリスマス会はお開きとなった。



中学校・高等学校への講師派遣事業

社会貢献活動推進委員会委員長
生方 玉也 (株)エイム 代表取締役

第8回講師派遣

日時：10月14日(火) 14:35~15:50

会場：栃木市立藤岡第一中学校

対象者：1・2年生・教職員約320名

講師：陳 賢徳氏 (株)ブルーヒルズ 代表取締役

演題：『生きる、働くとは何か』

【講演会の要旨】



「自分にできる最大限の努力をしよう」

働くことは大切です。でもその前に、自分ができる最大限の努力をしましょう。皆さんにとってそれは勉強です。

まず皆さんは、思うように勉強できる環境にあることを知しましょう。世の中には、事情により勉強したくてもできない人が大勢います。偉人と言われる人は、勉強が困難な環境の中で努力してきたから偉人になりました。例えば野口英世は、大変な貧農に育ち、火傷により手も不自由でした。しかし、手術により手を治してもらった恩返しをするために、医者を目指し、「志を得ざれば再びこの地を踏まず」と強く決心して夢を実現しました。そんな野口英世も決して一人で成功したわけではありません。母のシカ、恩師の斎藤先生など大勢の支えがあったお蔭なのです。

「勉強が恩返しになるのです」

勉強することができるというのは、周りの人のお蔭です。一人の人間が成功するという事は、その応援者が何人も何十人もいるという事なのです。だからこそ勉強するチャンスを得られるのです。家族や先生の応援があることを感じて下さい。そして恩返しをして

下さい。恩返しは100点満点でなくてもいいのです。たとえ10点でもいいと思います。

社会に出ても、闇雲に働くだけではなく工夫をして働くことが大切だと思います。そのための準備が勉強だと理解して下さい。本日、私がこうやって話をしたことを、10年後、20年後、皆さんが思い出してくれたら大変嬉しいです。

【生徒の感想】

○勉強する環境があるのが当たり前だった僕
の考えを、一変させる講演でした。

第9回講師派遣

日時：11月5日(水) 13:30~14:20

会場：栃木県立宇都宮工業高等学校

対象者：1年生・教職員約320名

講師：生方 玉也氏 (株)エイム 代表取締役

演題：『人はなりたい自分になれる』

【講演会の要旨】



① 「目標（夢）を持とう！」

なりたい自分になれる秘訣は目標（夢）を持つことです。自分で「こうなりたい」と考えて、それを果たすためにどうするかを考えることが大切です。例えば、富士山に登るとい目標を立てれば、そのためのトレーニングをしなければなりません。私はベトナムに会社を作りました。ベトナムがまだまだ貧しい時代に出会った、ある企業の守衛が、非常に向上心と夢を持って頑張っている姿に感動したためです。現在、国としてのベトナムは大きく成長しています。

② 「見方を変えてみよう！」

北半球と南半球では、世界地図は南北逆さまになります。国・民族・宗教などによって

モノの見方には様々あります。固定観念により自分の考えにこだわることは、その可能性を狭めてしまうこととなります。

③ 「あきらめずにやり続けることが大切！」

夢や目標は小さくても良いので立て、そのための行動を起こしましょう。その次に重要なことは、くじけても実行できるまでやり続ける事です。柔道世界選手権V3の海老沼選手（小山市出身）は言いました。「今の自分に満足したら、絶対に落ちていく。満足することなく前進するしかない。」スポーツも企業も同じです。

④ 「私はできる！そう考えて行動する！」

私の机の上にあることばを紹介します。「もしあなたが負けだと思えるならばあなたは負け…中略…私はできる。そう考えて行動する人が結局は勝つのだ」挫けそうな時は、これを読んで自分を励ましています。皆さん、どんどん失敗して下さい。失敗をしても前へ進めば道は必ず切り拓けます。

【生徒の感想】

○夢を叶えるために「自分で決断すること」はとても大切だ、ということに改めて感じた時間でした。

第10回講師派遣

日時：12月11日(木) 11:20～12:20

会場：鹿沼市立北犬飼中学校

対象者：2年生81名・教職員

演題：『大きな夢をもとう』

【講演会の要旨】

2年1組

講師：古口 勇二氏 ㈱古口工業 代表取締役
「ファンを作ろう」

今日皆さんに伝えたいことは、「ファンを作る」ということです。これは「自分を好きにさせる」ということです。君達を応援するファンは最低二人います。それは両親です。間違いなく両親は君達のファン1号2号です。さらに多くのファンを作れる人は、一生懸命に何事にもどんな時にでも頑張れる人です。

ポイントは「一生懸命に」です。本を読む時は本を読む。ご飯を食べる時は食べる。勉強する時は勉強する。それぞれを一生懸命することが大切です。大切なことを聞いたらそれを書き、書いたらそれを読む。読んだら発する。そうして一生懸命行動することで、皆さんのファンができます。

これから皆さんは高校に行った先々で一生懸命やることでしょう。やがて夢が見え始まる時が来ます。イチロー選手は小6のとき、メジャーで頑張りたいと作文に書きました。それを実現するために、バットを365日一生懸命に毎日振りました。だからファンも多い。ぜひ一生懸命を継続して下さい。「継続は力なり」です。



【質疑応答の中で】

- ・社員とその家族の幸せを考えることがやりがいであり、それが楽しい。人生は楽しいと感じることが大切です。今日、この場でみんなに会えたことも、この機会を与えられたことも嬉しくて楽しいです。
- ・AKB（あいさつ）（かんしゃ）（べんきょう）を大切にして下さい。挨拶と感謝ができなければ社会では通用しません。特にご両親に感謝して下さい。人生は、どこまでも勉強です。
- ・いじめは絶対にしないでください。悪口を言わないでください。100満点をとれる人間はいませんから。

【生徒の感想】

○古口先生のファンになりました。「人生は楽しい。山あり谷ありだけど嬉しい」と教えて下さった先生に感謝したい。

2年2組

講師：大野恵美子 氏

(株)キッズコーポレーション取締役副社長



私の夢は「全国にある保育園の子ども達、スタッフ、それらを取り巻く環境にある人に愛を届けること」です。どのようにして愛とワクワクにあふれた場所を作るかを夢にしています。

Q：大野「皆さんの夢は何ですか。」

A：生徒「サラリーマン」「教師」「幼稚園教諭」「保育士」「会社員」「パティシエ」「通訳士」

皆さんの年代では、将来の夢は自分の周りの人に影響されがちです。私も小さい頃は、両親（教師）の影響を受けて人の役に立つ仕事をしたいと思い、幼稚園と保育園の先生をしていました。

Q：大野「仕事をするってどういうことですか」

A：生徒「生活をするため」

私のスタッフも「給料を頂く」「生活をするため」と答えました。私の答えは「人の役に立つこと」です。人より優れていることを活かして、人の役に立つことをして報酬を得ることだと感じています。仕事をするることによる一番の報酬は仕事だと思えます。例えば、美味しいラーメン屋は仕事が忙しくなりますが、それが喜びとなります。仕事ができる人には、たくさんの仕事が舞い込み。その喜びが次なる仕事に繋がり、更なる喜びとなります。

学生の一番の仕事は勉強です。勉強することで選択肢が広がります。そして次のことも覚えておいて下さい。

「夢が叶いやすい人とは…」

①明るく元気な挨拶ができる、②誰に対しても平らかな気持ちでいられる、③片づけ・整理整

頓・清掃ができる、④時間・規則を守る、⑤プラスのことばを発する、⑥人の話をよく聴く、⑦自分を客観的にみる、⑧常に向上心を持つそして「自分が主人公の人生を送るために…」

①自分の事を大切に②幸せの始まりは「笑顔」と「元気」③自分の好きなことを徹底的に楽しもう！④何かを選択する時には、ワクワクドキドキするかがポイント⑤自分を取り巻く方々に「ありがとう」を伝えよう⑥一日24時間をデザインすることを楽しもう⑦自分の考えていることや感じていることを、言葉を通して伝えよう⑧自分で選択したという意識と責任を持って物事に取り組もう

このような気持ちを持つことが夢を引き寄せることにつながると思います。

【生徒の感想】

○夢を叶えるために、学校の大きな木にもあいさつをし、できることから一生懸命やっというと思っています。

2年3組

講師：菊池 太志 氏 (株)ドコモCS 栃木支店長



夢に大小はなく、夢は変わってもいいと思います。私は漫画が好きで、今でも読んでいます。中でも『宇宙兄弟』に出てくる54歳の登場人物の言葉が心に残っています。彼は、夢であった宇宙飛行士になる事ができませんでしたが、ロケット開発に夢を変えます。そこで彼が言った言葉が「私の夢は歳をとっていない」。漫画でも見習うことがあると思います。

私は、大学を卒業して、今のNTTに入社しました。しかし携帯電話の登場で、通信の世界に未来を感じ、NTTからドコモへ移る事を決心しました。周りからは不安がられま

したが、現状に満足するよりも、未来へ可能性を開こうと考えました。

今思えば、私の行動の原動力は「夢」や「未来」でした。私の場合は、その時その時で夢が変わりましたが、皆さんの中で、まだ明確な夢がない人は、目の前にある事を一生懸命挑戦することを目標にするとよいと思います。そして多くの人と話をし、多くの本（漫画でもいい）で得た知識から夢を形作ってははどうでしょうか。

小中学校までは、将来の夢や職業に個人差はありませんが、高校時代からの人生には大きな選択肢と変化が待っています。夢を追うことは大変です。でも夢を追うことは楽しいです。

【生徒の感想】

○まずは目先の夢を一つ一つ叶えられるようにしたい。夢に向かって努力することが大切だと思った。

第11回講師派遣

日 時：12月15日(月) 10：35～11：25

会 場：鹿沼市立南摩中学校

対象者：1・2年生55名

講 師：郡司 成江氏 (有)総美 代表取締役

演 題：『働くことの楽しさ』

【講演会の要旨】



自分の能力が高まれば、働くことが楽しくなります。自分の仕事の評価を決めるのは誰か。私の場合はお客様です。人から評価される仕事をしないと、単なる自己満足になってしまいます。美容師は、美容の腕だけではお客様は獲得できません。自分の事ばかりでなく、周りの仲間と助け合いながら仕事をする

ことが大切です。自分が大変な時だからこそ仲間を助けることで自分の能力も評価も高まります。そのような姿勢を作るために、今から準備をしておくことが大切です。

社会人になっても成功する秘訣、それは…

① 何でも一生懸命にしましょう

好きなことだけ一生懸命やる人がいます。そのような人は上達しません。

② 朝早く起きられる習慣をつけましょう

今起きられない人は、大人になっても起きられないと思います。

③ きちんご飯を食べましょう

美容師が辞める原因の1位は体がついていけないことです。たくさん食べてたくさん運動して、体を作っておくことが大切です。

④ 考えて生活しましょう

大人でも考えて行動できない人がいます。何か問題があった時にどのように対処するかでその人の評価が決まります。

⑤ 行動力をつけましょう

思っているだけでは何も叶いません。

「チャンスの神様には前髪だけが生えている」

チャンスの神様は前髪だけ生えていて、後ろ髪は生えていません。チャンスは通り過ぎてしまうと掴むことはできないことのとえです。「これはチャンスだ」ということに気づく感性を持って下さい。その方法は、「目の前にあることに一生懸命になること」それだけです。

「プラスのことを言う習慣をつけましょう」

叶うという字は口へんに+（プラス）と書きます。口からプラスの事を言うと叶うと言います。叶うという字に-（マイナス）をつけ足すと、吐くという字になります。人の悪口をたくさん言うと、自分の夢も叶わなくなります。今日からは是非、楽しい言葉を発して下さい。10年後には、素晴らしく成長した皆さんが楽しく働いていると思います。

【生徒の感想】

○美容師の仕事は、社会への貢献でもあることを知りました。今日の講話をこれからの自分の生活に活かすために行動していきたい。

会 務 報 告

平成26年10月～平成26年12月（敬称略）

内 容 ・ 日 時	議 事 ・ 報 告 等	出席者
<p>第4回企画運営委員会 平成26年11月13日(木) 15:00～17:00</p>	<p>検討事項 (1) 平成27年度事業活動方針・予算策定方針について (2) 30周年記念事業に向けた準備について (3) 県との交流会について 報告事項 (1) 新年例会について (2) 新委員長会議について</p>	<p>13名</p>
<p>第9回地域活性化支援 実行委員会 (第9回プロスポーツ 振興「栃木モデル」構 築に関する研究会) 平成26年11月19日(水) 16:00～18:00</p>	<p>【テーマ】スポーツビジネス（小売業）の新展開 （講演会形式） 講 師：中村 考昭 氏 （ゼビオ株式会社 常務執行役員） ※講演会の詳細は、プロスポーツ振興「栃木モデル」 構築に関する研究会のHPをご覧ください。 http://www.sakushin-u.ac.jp/tochigimodel/report.html</p>	<p>6名</p>
<p>第4回国際化推進委員会 平成26年11月28日(金) 16:00～17:30</p>	<p>議 事 (1) 第2回国際化推進委員会（大分視察）報告について (2) 文科省「トビタテ！留学JAPAN」への協力 について（案） (3) 平成25・26年度活動実績より報告書（提言書） 作成について（案） (4) 平成27・28年度委員会テーマ及び新委員長について</p>	<p>7名</p>
<p>第5回社会貢献活動推 進委員会 平成26年12月2日(火) 16:00～17:30</p>	<p>議 事 (1) プレゼンテーション 「高等特別支援学校への協力要請について」 講 師：瀬端 徹 氏 （栃木県教育委員会特別支援教育室 室長補佐） (2) 平成25・26年度テーマ報告書作成に向けて (3) 第9回社会貢献活動支援助成の実施方法について (4) 第2回話し方講座について 報 告 「ボランティアプロフェッサー事業」「中学校・高 等学校への講師派遣事業」について</p>	<p>17名</p>
<p>第3回地域振興委員会 平成26年12月8日(月) 15:00～17:00</p>	<p>議 事 (1) 「これトチ！」編集について (2) 報告書作成について (3) 地域振興の問題点について</p>	<p>20名</p>

内 容 ・ 日 時	議 事 ・ 報 告 等	出席者
第5回企画運営委員会 平成26年12月11日(木) 16:00~17:30	検討事項 (1) 平成27年度事業活動方針・予算策定方針について (2) 平成27年度モーニングセミナーのテーマについて (3) 創立30周年記念事業に向けた準備について 報告事項 (1) 平成27・28年度委員会の調査研究テーマについて (2) 正副委員長会議の開催について (3) 県政記者会との意見交換会の開催について (4) 講演会の開催について	14名
第10回地域活性化支援 実行委員会 (第10回プロスポーツ 振興「栃木モデル」構 築に関する研究会) 平成26年12月15日(月) 16:00~18:00	【テーマ】 「PRとは～スポーツに注目を集める“ニュース 作り”のヒント～」 (会議形式) 報 告：藤野 加奈 氏 (株式会社電通パブリックリレーションズ) ※会議の詳細は、プロスポーツ振興「栃木モデル」 構築に関する研究会のHPをご覧ください。 http://www.sakushin-u.ac.jp/tochigimodel/report.html	10名
第3回理事会 平成26年12月16日(火) 16:00~16:30	議 事 (1) 公益社団法人栃木県経済同友会就業規程の 一部改正について (2) 事務局長の採用について 報 告 (1) 平成26年度上期 理事の業務執行状況について (2) 会員の異動について	15名
第3回幹事会 平成26年12月16日(火) 16:40~18:00	議 事 (1) 平成27・28年度委員会の調査研究テーマの決定 について (2) 平成27年度事業活動方針・予算策定方針について (3) 創立30周年記念事業に向けた準備について (4) 官民協働海外留学支援制度 トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム 「地域人材コース」への協力について	32名
分権改革委員会第3回 会合 平成26年12月16日(水) 15:00~20:00 ザ・グランドパレス (徳島県)	議 題 (1) 「徳島県における地方分権改革の成果と道州制 への展望」 徳島県知事 飯泉 嘉門 氏 (2) 「関西広域連合の成果と今後の課題」 関西広域連合 事務局長 中塚 則男 氏	渡邊 副委 員長

新しい仲間たち

●会員の交代（敬称略）

 <p>しぶ や やす ひろ 洪 谷 育 宏 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) 宇都宮支店 支店長</p> <hr/> <p>変更前 武井 晃</p>	 <p>なか だ よう すけ 仲 田 陽 介 仲田総業(株) 専務取締役</p> <hr/> <p>変更前 仲田 俊夫</p>
 <p>わか つき ひろ ゆき 若 月 裕 之 鈴運メンテック(株) 取締役副社長</p> <hr/> <p>変更前 若月 章男</p>	

※平成26年12月末日現在の会員数は264名、準会員数は7名です。
引続き会員増強にご協力を願います。

(公社) 栃木県経済同友会行事予定

日・曜日	2 月 行 事 (内 容)	
2 日(月)	第 2 回講演会	場所：宇都宮東武ホテルグランデ 時間：16：00～ 担当：高野
5 日(木)	第 3 回産業政策委員会	場所：宇都宮グランドホテル 時間：16：00～ 担当：広瀬
6 日(金)	第 4 回社会問題委員会【シンポジウム】	場所：ホテル東日本宇都宮 時間：16：00～ 担当：青木
10 日(火)	第 4 回行財政改革委員会	場所：事務局会議室 時間：16：00～ 担当：高野
12 日(木)	モーニングセミナー	場所：宇都宮グランドホテル 時間：8：00～9：00 担当：田口
12 日(木)	第 6 回企画運営委員会	場所：事務局会議室 時間：15：00～17：00 担当：青木
17 日(火)	未来経営研究会・産業政策委員会・社会問題委員会 特別講演会	場所：宇都宮グランドホテル 時間：17：30～ 担当：田口
24 日(火)	第12回地域活性化支援実行委員会 【第12回プロスポーツ振興「栃木モデル」構築に関する研究会】	場所：作新学院大学 時間：16：00～18：00 担当：広瀬
25 日(水)	第13回地域活性化支援実行委員会	場所：ホテルニューイタヤ 時間：17：00～ 担当：広瀬
27 日(金) ～ 28 日(土)	栃木交流研究会第 3 回視察【塩原温泉】	場所：塩原温泉 担当：藤田
日・曜日	3 月 行 事 (内 容)	
6 日(金) ～ 9 日(月)	未来経営研究会第 4 回例会【ベトナム視察】	場所：ベトナム 担当：田口
11 日(水)	モーニングセミナー	場所：宇都宮グランドホテル 時間：8：00～9：30 担当：田口
12 日(木)	第 7 回企画運営委員会	場所：事務局会議室 時間：15：00～17：00 担当：青木
13 日(金)	第 4 回理事会・第 4 回幹事会	場所：宇都宮東武ホテルグランデ 時間：16：00～18：00 担当：広瀬
19 日(木)	正副委員長会議	場所：ホテルニューイタヤ 担当：高野

- ・上記の予定は、1月9日までに確定しているものです。
 - ・開催未定の行事につきましては、確定次第、所属の委員・会員の方にご案内いたします。
- 栃木県経済同友会事務局 TEL 028-632-5511 ホームページ <http://douyuukai.jp>